

CO-OP

三重の生協の  
今を伝える

# みえの虹

No.132

2024年1月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379  
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスによる行動制限の撤廃により、日常生活が戻ってきました。しかし、生活必需品の価格高騰が続き、実質賃金の下落、税や社会保障の国民負担率の上昇などによる、厳しいくらしが続いております。消費税率の引き下げ、賃金の上昇、円安からの転換、食料自給率の上昇などが必要です。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続く中、イスラエルとパレスチナの紛争では民間人が犠牲になり、深刻な事態となっています。平和憲法を持つ日本は、国家間対立に組み込まれ軍事力強化を目指すより、平和的解決を進める戦略的外交が求められています。

温暖化による異常気象や自然災害の発生で、世界中に大きな影響が出ています。CO2削減をすすめるために、自然エネルギーの拡大、省エネ、資源循環などのいっそうの取り組みが求められています。

よりよき生活と平和のために助け合いの組織として役割を發揮し、安心してくらし続ける地域社会づくりに貢献し、行政や関係諸団体との連携を強く持続可能な社会の実現を目指し努力していきます。



三重県生活協同組合連合会 会長理事 茂木 穰

### 活動報告

## 消費者生活協同組合(連合会)などに対する厚生労働大臣表彰を受賞

2023年10月23日(月)、ベルサール虎ノ門(東京都)で開催された「令和5年度消費生活協同組合(連合会)等に対する厚生労働大臣表彰」で、三重県労働者共済生活協同組合(団体)、鈴木稔彦氏(個人・生活協同組合コープみえ理事長)が、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

この表彰は1948年に制定された消費生活協同組合法を記念して5年ごとに行われ、健全な事業運営を行い、他の模範と認められる組合・連合会に対し、その功績をたたえて贈られるものです。今回は31の組合・連合会と29名の個人が表彰されました。



三重県労働者共済生活協同組合・金森理事長：団体表彰



個人表彰のみなさま

一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合  
コープみえ

みえ医療福祉  
生活協同組合

三重県学校  
生活協同組合

三重大学  
生活協同組合

三重短期大学  
生活協同組合

三重県立看護大学  
生活協同組合

三重県労働者共済  
生活協同組合

## 活動報告

# 2023年ハート平和行進を開催しました



2023年6月14日(水)、津市のお城西公園で全岐阜県生協連から三重県生協連へのピースリレー引継集会を開催しました。

ピースリレー引継集会后は、三重県原爆被災者の会と原水爆禁止三重県協議会との共催で「2023ハート平和行進」が行われ、参加者82人がお城西公園から国道23号線を經由して塔世橋を渡り、三重県勤労者福祉会館まで行進しました。



2023年ハート平和行進

終結集会では三重県在住のウクライナ人の山本ハリナさんが、現地での家族のことや被災者状況などを報告してくれました。

また、三重県生協連を代表して平和活動委員会の森谷秀香さんが三重県知事への「平和の要請」を読みあげ、三重県政策企画部政策企画総務課の中根課長へ要請書を手渡しました。

## 活動報告

# 「平和」の継承ーピースアクションinヒロシマに参加しました

みえ医療福祉生活協同組合 森谷秀香

8月4日(金)~5日(日)、広島で行われた「ピースアクションinヒロシマ」に三重県生協連から森谷秀香さん(職員)が参加しました。

### ●「思い」を受け取った私たちの役割

広島で被爆された田中聡司さん(79)、広中正樹さん(83)の証言を伺いました。「核兵器をなくすための活動は、多くの方がなくなった中で生き延びた者の使命」と強いまなざしで語る田中さんと、「涙を流している姿を見せたくなくて、被爆した父がなくなるときに傍にいけなかった」と涙ながらに語られる広中さんの姿が頭から離れません。「自分と同じ経験をもう誰にもしてほしくない」お二人の言葉には様々な思いが詰まっており、その思いを伝えていくのが戦争を経験されている方から直接お話を伺える最後の世代である私たちの役割だと痛感しています。現地参加がきっかけでできた仲間とは今も連絡を取り合っており、平和活動の情報交換をしたりしています。これからも一緒に平和活動に取り組んでいきたいです。

### ●「歴史」から学び「笑顔」を守る

そこにあった人々の「暮らし」を一瞬で奪ってしまう、それが「核兵器」です。核兵器が存在するということは、同じ歴史を繰り返すリスクを抱えることになると思っています。戦争を経験された方の思いを継承し、未来に新しく伝え、戦争が起こらないようにしないとイケません。現地参加をさせていただいて感じ取った戦争を経験された方の「思い」を、SNSなどを通して少しでも多くの方に伝えていきたいと思っています。子どもたちの笑顔が輝く社会をつくるために、当事者から直接お話を伺える最後の世代の一人として、責任をもって平和のバトンをつないでいきます。



## 活動報告

# 第47回通常総会 記念講演会 「協同組合のアイデンティティを学び、これからの考える」を開催しました

2023年7月15日(土)、三重県教育文化会館で「協同組合のアイデンティティを学び、これからの考える」を開催し、会員生協から22名の役職員が参加しました。

日本協同組合連携機構(JCA)の前田健喜氏に基調講演『「協同組合のアイデンティティ」とは』を講演していただき、「協同組合のアイデンティティを考える」グループディスカッションに取り組みました。

協同組合の原点ともいえる定義、価値、原則に触れ、それぞれが現在の事業や活動、仕事のこと等を振り返り、協同組合にとって大切なことを確かめ合う機会になりました。

参加者からは、協同組合で発揮したい役割、今後30年を見据えた議論を交わすことができましたといった声が寄せられました。



グループディスカッションの様子

## 活動報告

### 介護保険制度について考える学習会 「どうなっちゃうの？これからの介護保険！」を開催しました

2023年8月8日（火）、コープみえ本部とWeb会議システム（Zoom）を併用して「どうなっちゃうの？これからの介護保険！」の学習会を開催しました。

一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構事務局長の白間勝則氏を講師にお招きし、37名の会員生協役職員が参加しました。今後の環境変化と2024年度以降に予定されている介護保険制度の概要等を学びました。

## 活動報告

### 三重県に2024年の介護保険制度改定にむけての 意見を提出しました

三重県生協連は、2024年の介護保険制度改定にむけての意見を理事会としてとりまとめ、2023年11月9日（木）、三重県庁を訪問し、三重県医療保険部長寿介護課の井谷課長との懇談を通して、三重県知事に2024年の介護保険制度改定に向けての意見書を提出しました。

井谷課長からは、三重県として考え方などを含めた回答がありました。

## 活動報告

### 三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」を開講しました

三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」を10月から開講しました。2024年1月29日（月）までの全15講義が予定されています。

今年度も次世代を担う学生に、社会や地域と人のつながりをはじめとした協同組合への理解と関心を広げることが目的です。今年は49名が履修登録しました。講義を通して歴史的な経緯を学び、現在の活動内容や状況を学ぶ中で現代社会の諸問題について考えます。



日本生活協同組合連合会  
土屋代表理事会長



講義の様子

講義テーマ	講 師
第1回 「イントロダクション」 「協同組合の仕組みと原則①」	三重大学 リカレント教育センター 教授 青木 雅生氏 三重大学 名誉教授 / 京都大学 学術情報メディアセンター研究員 石田 正昭氏
第2回 「協同組合の仕組みと原則②」	三重大学 名誉教授 / 京都大学 学術情報メディアセンター研究員 石田 正昭氏
第3回 「生協運動の現在と未来」	日本生活協同組合連合会 代表理事会長 土屋 敏夫氏
第4回 「大学と協同組合」	三重大学生活協同組合 専務理事 竹内 信也氏
第5回 「消費者と協同組合」	生活協同組合コープみえ 人事部人づくり推進課 課長 古澤 賢一氏
第6回 「医療・福祉と協同組合」	みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院医療サービス室 主任 太田 卓氏
第7回 「漁業と協同組合」	三重県漁業協同組合連合会 指導部長 植地 基方氏
第8回 「協同組合と共済」	日本コープ共済生活協同組合連合会 代表理事理事長 和田 寿昭氏
第9回 「金融と協同組合」	三重大学 人文学部 教授 野崎 哲哉氏
第10回 「労働者福祉と協同組合」	一般社団法人三重県労働者福祉協議会 専務理事 木村 敬明氏
第11回 「働く人の協同」	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 神奈川事業本部 事務局長兼総務経理センター長 豊内 和寿氏
第12回 「協同組合と市民」	NPO 法人市民社会研究所 代表理事 / 四日市大学 名誉教授 松井 真理子氏
第13回 「(ICA と) 協同組合間協同」	日本協同組合連携機構 CI・国際・研究チーム 部長 前田 健喜氏
第14回 「協同組合と現代社会」	NPO 法人地域と協同の研究センター 専務理事 向井 忍氏
第15回 「協同組合の未来」	三重大学 リカレント教育センター 教授 青木 雅生氏

活動報告

## 緊急消防援助隊三重県大隊が参加する合同訓練に、 隊員のべ108人の食料等を供給しました

2021年3月に、三重県と締結した「緊急消防援助隊 三重県大隊等の応援出動における食料等の供給に関する協定」に基づき、三重県知事から近畿ブロックと中部ブロックへの訓練参加に伴う食料などの供給要請があり、2023年11月3日（金）と10日（金）に、隊員計108人分の食料等を届けました。



食料等を緊急車両へ積み込む

活動報告

## 三重県食の安全・安心研修会 「食品添加物の現状と、私たちの選択」を開催しました

三重県と三重県生協連は、2023年12月2日（土）、アスト津会議室1とWeb会議システム（Zoom）を併用し、「食品添加物の現状と、私たちの選択」を開催しました。会員生協の組合員や役職員など81名（会場26名、Web55名）が参加しました。

講師の内閣府食品安全委員会委員の川西 徹氏から、食品添加物とは何か、基準や安全な「量」の決め方、海外と日本の違いや実際の食品表示などについてご講演をいただきました。三重県医療保健部食品安全課の上浦班長からは、三重県の取り組みが報告されました。

参加者からは、安全性がどのように判断されているのかについて聞く機会は少ないので勉強になったという声や、専門用語が多く難しかったといった声、日本の基準は低いという情報に不安を感じていたが、特段不安になる必要はない事がわかった、大切なのは片寄った食事を摂るのではなく美味しく楽しく食べる事が大事ですねといった声が寄せられました。



川西(講師)

活動報告

## 協同組合役職員学習会 「市民協働によるまちづくりを考える」を開催しました

2023年12月5日（火）、アスト津会議室1とWeb会議システム（Zoom）を併用し、協同組合役職員学習会「市民協働によるまちづくりを考える」を開催しました。

名古屋市立大学名誉教授の向井清史氏からは「市民協働によるまちづくり」をテーマにご講演を、やなマルシェ代表の加藤久美子氏からは、JA愛知東での「やなマルシェ」の活動事例をご報告いただきました。

向井氏からは、まちづくりの上でも、協同組合は市民協働に必要な新しい地域合意形成の基盤として期待されていること、「つながり」を社会関係資本ととらえ、つながり広がりあうことが市民協働に必要な要素であるとのお話がありました。

そして、Aコープ八名店の閉店を機に地域の方々とともに活動を作り上げてこられた加藤氏からは、地域住民としていくつもの「つながり」をつなぎ、やなマルシェが「大きな夢と小さな目標」をもち、誰もが集いあえる場を作り上げていった過程などをご報告いただきました。

参加者からは、協同組合は仕組みであり、仕組みは活用されることで豊かな可能性を生むことを理解しましたといった声や、地域社会の課題を共有し行政、諸団体と協力して行動していければと思いますといった声が寄せられました。



質疑応答の場で